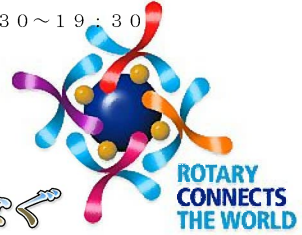


# 皆野・長瀨ロータリークラブ

## 週報

- ◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
- ◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭
- ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内  
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134  
e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
- ◇点 鐘 畝 徳治会長
- ◇ソング 奉仕の理想



ロータリーは世界をつなぐ

第1489回例会 令和元年10月13日(日)

# 龍勢まつり例会

## 龍勢の打ち上げ

龍勢の打ち上げには、神社から300mほど離れた山ぎわに丸太を組んだ、高さ25mほどの櫓を使用します。

打ち上げの順番はあらかじめ定められており、番がくると奉納者の若連は、揃いのハッピー姿で龍勢をかつぎながら打ち上げ櫓まで運びます。火薬の取扱いが規制される以前には各耕地(集落)からかついで、神社まで運び、境内中を激しく勇壮にもんだといひます。

やがて櫓にすえられた龍勢の火薬筒の下部の口火に導火線を結び、地上まで延ばすなどの作業がすむと「東西、東西〜、ここに掛け置く龍の次第は・・・」と奉納者の声自慢が、独特の節回しの「龍勢口上」を述べます。

合図の太鼓が間を置いて打たれ、見物人の目はいっせいに打ち上げ櫓に注がれます。

ついに導火線に火が入り、かたずを呑んで見守るうちに、白煙が龍勢をつつんだかとおもうと、ごう音とともに火を吹き一瞬にして空高く舞い上るのです。昇りつめた瞬間落下傘が開きふわりと矢柄を吊り下げれば成功です。矢柄に仕掛けられた紅煙が流れ、色火が点滅します。

しかし、すべてこのようにうまく上るわけでもなく、中には火を吹くだけで上らないもの(いづくまり)や、筒がはねてしまうもの(つつっぱね)等、不成功に終るものもあり、棟梁の力量が試されます。

### ★龍勢の構造

#### 背負い物(ショイモノ)

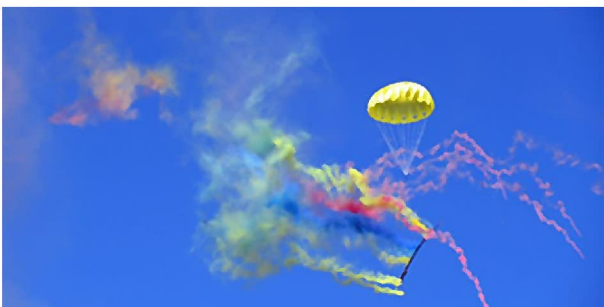
- 唐傘、花火、落下傘などの仕掛けをセットします。
- 伝統技術の見せどころで各流派によって異なり、龍勢の個性が決まります。

#### 火薬筒

- 松材をくり抜き、竹のタガで補強してから黒色火薬を詰めます。
- 下部に噴射口を開け、上部には仕掛けのための導火線を通す穴(フッキリ)を開けます。

#### 矢柄(ヤガラ)

- 前もって切り出した青竹を天日で乾燥させ軽くした後、火薬筒に結びつけ方向舵の役割をさせます。
- 長さは約10間(約18m)もあります。





秋



ニコニコボックス

- ♪ 阪本昇寿様
- ♪ 飯田 茂様
- ♪ 若林俊明様

合計 15,000 円



出席率

100%

